

「四海王」ブランド開設

豊橋の 福井酒造 出資者集め新酒づくり

看板銘柄周知へ



福井酒造(豊橋市)を知ってもらおうと、福井酒造「四海王」は、全国の愛飲家「ファン」を開拓し、自社の看板銘柄とした。

ファンで資金で地元豊橋産の「夢吟香」を配合し、今季の製造に使う酒米を仕入れる。幅広くファン事業を展開するミュージックセキユリティーズ(本社・東京都千代田区)の協力を得て開設した。特典として出資者には1口につき、地元豊橋産の「夢吟香」5000円分を送るほか、売上に応じてファンで設定した金額を分配する(ただし売れ行きが悪い場合は、元本割れのリスクもある)。

福井酒造のファン「四海王」(中央が特別純米酒「夢吟香」)を上限に1口から

募ることができる。ミュージックセキユリティーズが愛知県に委託を受けて始めた「いいねーあいち応援ファン」シリーズの1つで、分配予定金額は同社のホームページで確認できる。「四海王」ファンは愛知県内では第1弾で、人気は高く、すでに募集枠の約8割が埋まっている。福井社長は「県内の第一号に選んでいただいて光栄。全国の日本酒ファンに弊社を知っていただく好機でもあり、最高の酒を造ります」と張り切っている。(高石昌良)